

平成26年度

企画政策部 組織目標設定シート

組織の方針	今年度の目標設定		
A 組織の方針(使命) 組織の基本方針又は使命	B 重点目標項目 組織の課題のうち今年度取り組むものを優先順に	C 設定理由・考え方 どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか (できるだけ定量的に記入)	D 活動(手段) 重点目標項目を実現するため行う活動や手段
<p>地方分権の進展により、地方自治体に自己決定・自己責任が求められる中であって、各部政策推進室との政策調整を行い各部局が一体となった統一的な意思形成を図るとともに、総合政策機能を活かしたまちづくりを進める。</p> <p>市民の意見や提言を市政に反映し、市政に対する市民満足度を向上できるよう広報・広聴機能の充実に努める。</p>	1. 公共施設等の整備検討	・ 今後新たに必要となる公共施設の整備方針を策定する。	・ 策定済みの公共施設白書を踏まえた検討を行う。
	2. 次期総合計画策定方針の決定	・ 現行基本計画の計画期間が H27 で終了となるので、次期総合計画の策定方針を決定する。	・ 現基本計画の総括 ・ 専門家委員会により検討し、その提言に基づき方針決定する。
	3. 市政情報の積極的な発信 (多様な媒体を活用して、タイムリーな情報発信を行う)	・ 広報等を通じ、市の施策について積極的に提供することで、市の将来展望を市民と共有していく。 ・ まちの魅力を発信することで、市民のまちへの愛着やまちづくりへの意識、市民としての誇りと一体感を向上させる。 ・ 市民に親しまれ、市民ニーズに沿った紙面やページの作成を行う。 ・ マスコミへの情報提供を充実し、市や市民団体等の情報を積極的に発信する。	・ 広報紙の発行及び市民意見の聴取・反映 ・ 広報紙面への特集・企画記事の掲載 ・ SNS の活用 (Twitter、Facebook) によりリアルタイムに情報を発信 ・ 記者會及び他のメディアへの情報提供
	4. 市民ニーズの把握 (多様化する市民ニーズを的確にとらえるため、広聴機能を充実させ、情報の共有化を図る)	・ 多様な方法で市民ニーズを把握・分析し、全庁で共有することで、市政へ反映していく。	・ eモニターによる継続的なアンケート調査の実施 ・ 茶々とサロンの実施 ・ 出前講座の実施 ・ 市政ご意見箱等の実施及び迅速な対応